

雪氷写真館 ⑩ 劔岳, 三ノ窓氷河のボーリング調査 / Surveys on Sannomado Glacier in Mt. Tsurugi, the Northern Japanese Alps



写真 1 劔岳, 三ノ窓氷河. 写真中央部 (○印) がボーリング地点.



写真 2 ボーリング調査の様子.

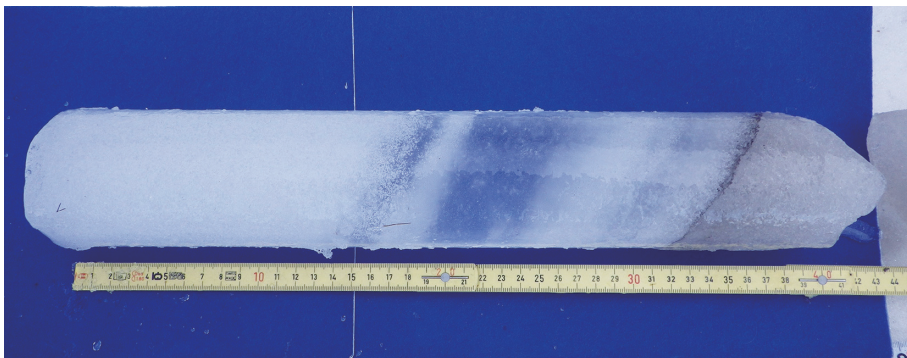


写真 3 採取された深さ 15 m 付近のコア. 左側が上部.

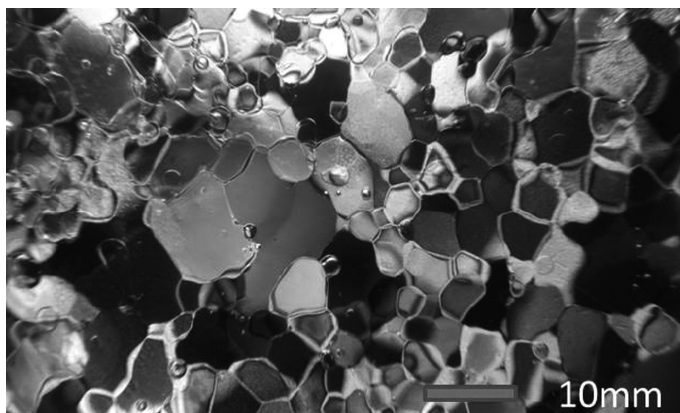


写真 4 18m 深の氷河氷の薄片写真.

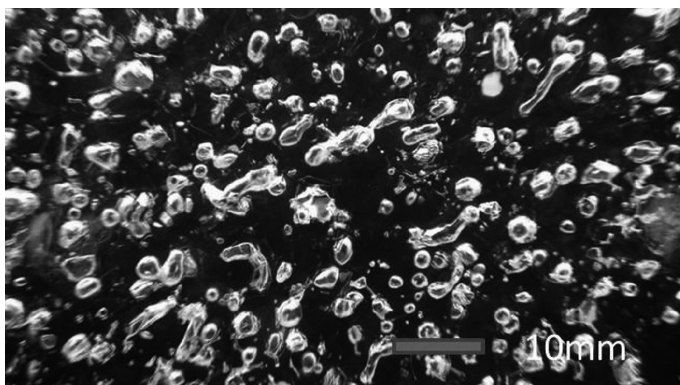


写真 5 18m 深の氷河氷の気泡の形状.

### 劔岳，三ノ窓氷河のボーリング調査

劔岳，三ノ窓氷河は，日本最大規模の氷体を持ち，氷体の流動が確認された現存氷河である（写真 1）．富山県立山カルデラ砂防博物館では，2013 年 9 月 25～26 日に，三ノ窓氷河の内部構造を探るためボーリング調査を実施し，20 m のコアを得た（写真 2）．

現地で実施したコア解析の結果，深さ 5 m の汚れ層付近でフィルンから急激に氷河氷へ変化していて，それ以上の深さでは気泡氷，透明氷，汚れ層の互層が続いていた（写真 3）．また，深さとともに氷河氷の粒径が増加して，18 m 深付近では平均粒径が 5 mm に達していた（写真 4）．さらに，18 m 深付近の氷河氷には気泡の伸長が見られ（写真 5），これは氷体の内部流動を反映しているものと考えられる．

同様のボーリング調査を立山，御前沢氷河でも実施し，現在コア解析を行っている．

飯田 肇・福井幸太郎（富山県立山カルデラ砂防博物館）